

▼ 職員公金詐取事案発覚以降の市の対応 ○=起こったこと ●=市の動き

月 日	概 要 ※網掛は市長の動き	逮捕等	チーム打合せ ・検証会議
令和5年 1/20(金)	○市の取引業者より業務委託料未入金の連絡 ●会計課調査の結果、2事業者分計1,048,861円が未払いであることが判明		
1/23(月)	○2事業者分とも元職員の個人口座へ振り込まれていることが判明		
1/24(火)	●元職員から1,048,861円が市に返還		
1/27(金)	○元職員が行方不明となった。 ●内部調査により、R4年度に元職員の個人口座への振込が52件20,996,024円あることを確認		
2/1(水)	○元職員帰宅 ●内部調査により、52件については、事業者への未払いがないことを確認 ●公金詐取（第1回）記者会見（16:00～） ・森和実市長が会見	○1回目逮捕 （1,048,861円分）	
2/3(金)	●柴田市長就任 ※市長訓示「調査検証チームの設置を検討」		
2/6(月)	●幹部会において、柴田市長が市長直轄のタスクフォース設置を指示		
2/10(金)	●「公金詐取に係る検証会議」と「調査検証チーム」を設置 ・チームでの調査を開始		
2/14(火)			第1回チーム
2/16(木)	●R4年度中の52件20,996,024円の振込データの改ざんについて、守山警察署に告発状を提出		
2/17(金)	●定例記者会見の冒頭で柴田市長が発表 ・調査検証チームの立ち上げ ・R4年度（52件）分を守山警察署に告発		
2/21(火)		○2回目逮捕（R4年度分）	第2回チーム
2/24(金)	●元職員を懲戒免職処分		
3/1(水)			第3回チーム
3/9(木)			第4回チーム
3/10(金)	●R2/5～R4/3、R5/1の108件38,151,319円の振込データの改ざんについて、告発状を提出		
3/13(月)	○元職員が公電磁的記録不正作出・同供用、電子計算機使用詐欺の罪（2/16付け告発分）で起訴	○3回目逮捕（R3年度分）	
3/23(木)			第5回チーム
3/28(火)			第1回検証会議
3/31(金)	○元職員が公電磁的記録不正作出・同供用、電子計算機使用詐欺の罪（3/10付け告発分）で起訴		
4/11(火)			第6回チーム
4/19(水)			第2回検証会議 第7回チーム
4/20(木)	○公判（1回目）元職員は起訴状の内容を認めた。 ●関係職員の懲戒処分		